

新年特別号

明けまして

おめでとうございます

今年もよろしくお願ひします

# 朝志和

発行所

埼玉土建一般労働組合朝志和支部

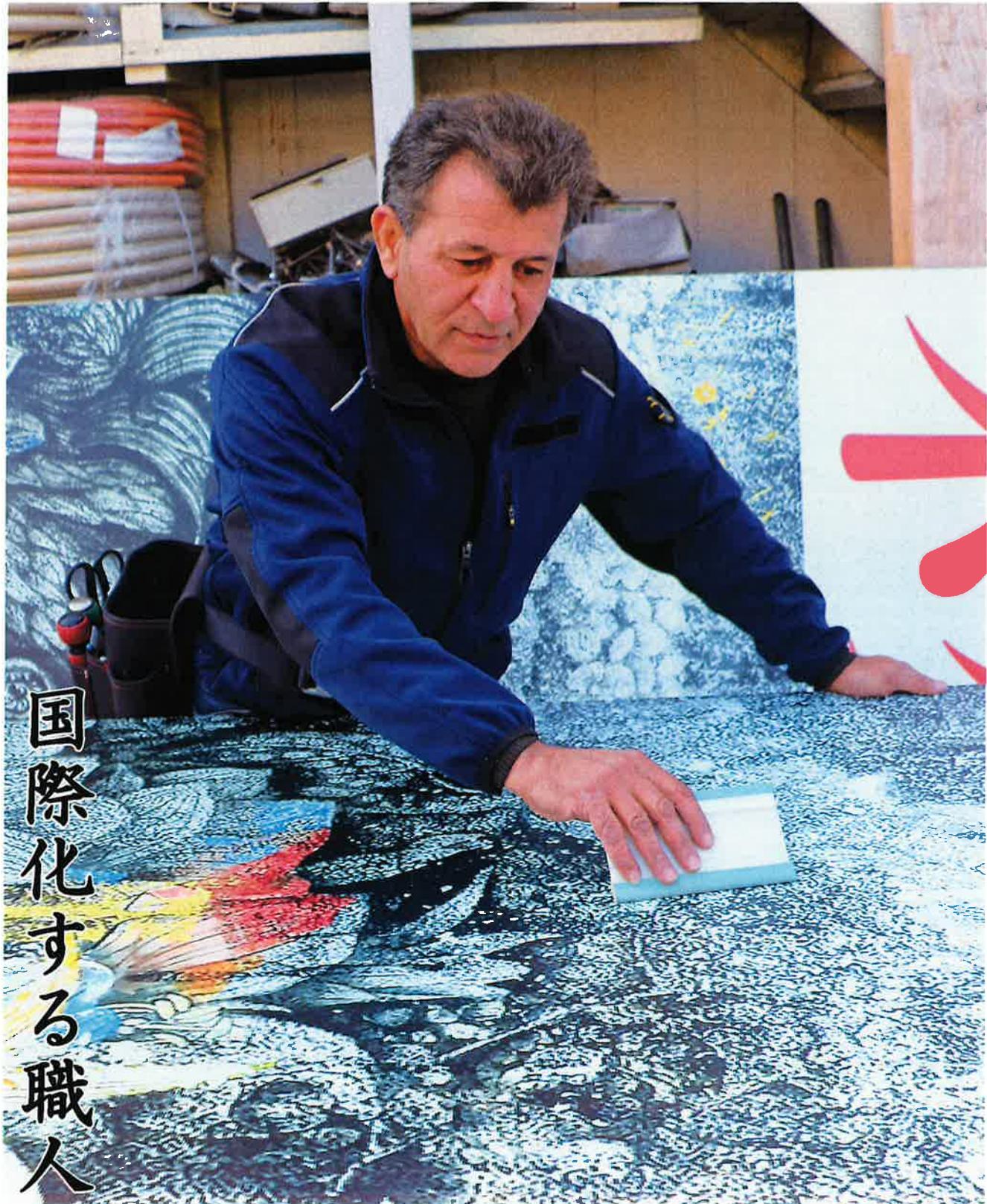
〒351-0007 朝霞市岡3-24-37

TEL 048-462-1303 FAX 048-463-7059

《発行人》朝志和支部教育宣伝部

第223号 定価 30円

(機関紙代は組合費に含まれています)



撮影：栗田伴春





## 東日本大震災から12年

## 新年号特集

## 東京電力福島第一原発の現状と福島県民の実態

## 増え続ける廃炉計画

原発事故から12年が経過した東京電力福島第一原発の現状と福島県民の実態を取材するため、藤原副部長・栗田部員・井口書記で、11月16日に福島県労働組合総連合（福島県労連）に行きました。

野木議長・佐藤事務局長・添田事務局次長が対応してくれました。

11月17日は実際の被災地の現在の状況を取材しました。渡辺相双地方労働組合総連合事務局長に現地の案内をしてもらいました。

原発事故から12年が経過しても原発の廃炉の見通しは依然として立つていません。国と東京電力は事故から30～40年で廃炉を完了させるという「中長期ロードマップ」を決定していますが、その抜本的な見直しが必要になっています。東京電力が優先的に対応してきました。使用済み核燃料やデブリの取り出しが、当初の廃炉計画から遅れ続けています。また、新たに1号機の破損や2・3号機では格納容器の上蓋に高濃度のセシウムが大量に残っていることも明らかになりました。汚染水・ALPS処理水の問題では汚染水の新たな発生が抑えられないもので海洋放出を強行したという問題とともに、タンクの処理・処分の問題やALPS（他核種除去設備）で



取材に訪れた福島県労連事務所



いたるところにある線量計

ALPS処理水の海洋放出について、福島県の発表（23年9月11日）では、避難者が仮置きされている除染工

の問題も大きな課題になっています。現在の避難者の実態として福島県の発表（23年9月11日）では、避難者が仮置きされている除染工

場所を含んだ水のことです。事故を起こした東京電力第二原発の1号機から3号機には、事故によつて溶けて固まつた燃料デブリが大量に存在しています。この溶けて固まつた燃料デブリを冷やすための水が、燃料デブリに触れ、放射性物質を含んだ「汚染水」となります。さらに、地下水や雨水が原子炉建屋、タービン建屋といった建物のなかに入り込み、汚染水と混ざり合うことで、新たな「汚染水」が発生しています。この「汚染水」を「ALPS」とい

## ALPS処理水の海洋放出

また「汚染水」とは東京電力第二原発事故で発生している高濃度の放射性物質を含んだ水のことです。事故を起こした東京電力第二原発の1号機から3号機には、事故によつて溶けて固まつた燃料デブリが大量に存在しています。この溶けて固まつた燃料デブリを冷やすために20トンの水が、燃料デブリに触れ、放射性物質を含んだ「汚染水」となります。さらに、地下水や雨水が原子炉建屋、タービン建屋といった建物のなかに入り込み、汚染水と混ざり合うことで、新たな「汚染水」が発生しています。この「汚染水」を「ALPS」とい

破られた漁連との約束  
中止を求めるべきめず

國と東京電力は2015年に福島県漁連との間で、「関係者の理解なしに、いかなる処分も行わない」という約束を結んでいましたが、漁業者のみなさんが強く反対していました。また、漁業者たちは汚染水の新たな発生が抑えられないもので海洋放出を強行したという問題とともに、タンクの処理・処分の問題やALPS（他核種除去設備）で

ALPS処理水の海洋放出計画は、基準値以下に達めた「ALPS処理水」を30年以上かけて海に放出することを予定しています。この「汚染水」を「ALPS」とい

う多核種除去装置で処理した水が「ALPS処理水」です。放射性物質の濃度を低減させ、廃地内のタンクに保管している間に溶けで固まつた燃料デブリが大量に存在しています。この溶けて固まつた燃料デブリを冷やすために20トンの水が、燃料デブリに触れ、放射性物質を含んだ「汚染水」となります。さらに、地下水や雨水が原子炉建屋、タービン建屋といった建物のなかに入り込み、汚染水と混ざり合うことで、新たな「汚染水」が発生しています。この「汚染水」を「ALPS」とい

む地下水を止めるなどして汚染水の新たな発生を抑えることが必要です。そして、その方法は専門家のみなさんから提案されています。国と東京電力はこうした専門家の意見、提案に貢献に耳を傾け、新たな汚染水の発生を抑える抜本対策、海洋放出以外の処分方法について早急に具体化すべきです。

内閣福島県知事は「想定外の事態が生じることがないよう、油断することなく、万全の対策を講じて欲しい」と繰り返し述べています。もし「想定外の事態」が起きたにもかかわらず、こぼ、漁業者をはじめ福島県民の12年余にわたる復興の努力は一瞬にして無

丘の上に見える第一原発1号機、2号機



帰還困難区域での汚染土の仮置き場

相馬市のインターично  
ンジ付近で渡邊相双地方  
労連事務局長と合流し、  
相馬市から大熊町までの  
視察を行いました。

渡邊さんの案内が無ければ、震災前に町があつたとは思えない広大な敷地が拡がっていました。埼玉では見ない「線量測定システム」が設置された。道中では「津波没水区間ここから」との標識がいたるところがあり、埼玉では見えない「線量測定システム」が設置されました。途中では「津波没水は、津波による死者が127人、行方不明者27人」と多くの犠牲者がでました。請戸小学校は海岸から約300メートルに位置し、地震発生から約40分後に津波の被害にありました。当時教職員はすぐに入り、児童に対し避難を促し、避難場所に指定され

相馬市の人々が「中間防護」と呼ぶ袋に詰められシートに覆われています。「中間防護」と言つても、「汚染土壤を受け入れてくれる場所がない」とのことでした。

## 相馬市から大熊町視察

### 震災遺構請戸小学校

になってしまいます。海洋放出は強行されましたが、問題が解決されたわけではありません。「中止」を意味しています。海洋放出は強行されましたが、福島県労連の3人が話上げ続けます。福島県労連の3人が話つてくれました。

【宗岡 栄田伴春】

被災地の状況  
の記録から、複合災害の始まりについての資料、

# 原子力の利用

震災前に中学生が書いた書道

続いて「東日本大震災・原  
子力災害伝承館」を訪れました。そこでは平穏な暮らしを一変させた地震と津波、それに続く原子力発電所事故。複合災害の発生を受け、人々はどのように行動したのか。震災前、震災当時、震災直後の状況を時系列でたどり、さまざま

## 平稳な暮らしが一変

### 東日本大震災 原子力災害伝承館

映像、展示物がありまし  
た。そこで見た忘れられ  
ない書物がありました。

伝承館も大変立派な建  
物でしたが、大震災・原  
発事故で被害を受けた地

## 原発神話崩れた今 政府が方向を示す必要

相馬市インターично  
ンジ付近で渡邊相双地方  
労連事務局長と合流し、  
相馬市から大熊町までの  
視察を行いました。  
渡邊さんの案内が無ければ、震災前に町があつたとは思えない広大な敷地が拡がっていました。埼玉では見ない「線量測定システム」が設置されました。途中では「津波没水は、津波による死者が127人、行方不明者27人」と多くの犠牲者がでました。請戸小学校は海岸から約300メートルに位置し、地震発生から約40分後に津波の被害にありました。当時教職員はすぐに入り、児童に対し避難を促し、避難場所に指定され



被災当時のまま保管されている請戸小学校



津波の被害にあった請戸小学校の場所

中学生の書いた習字で  
「原子力の利用」と書かれていました。「原発は絶対安全。もし大震災があつて町が全部やられて  
も原発は最後まで残る」と1970年東電開発本部副本部長が語ったとさ  
れています。原発は絶対安全でできる限りのことをしてきました。原発所では「原発



東日本大震災・原子力災害伝承館

被災地では温水プール  
のフィットネスジム  
や体育館などができるま  
す。東電の賃貸金や国か  
ら補助金・支援金が出る  
うちも利用し、復興拠点  
を中心には行政を心配  
されています。今後のハコ  
モノの維持管理費が心配  
されています」と渡邊さ  
んは語っていました。

近くには長く続く桜並木もあり、お祭りも行わ  
れるそうです。神社の祭

りの真などを見ると、いかにこの土地を愛して  
いたか。そして、自然環境  
かな愛する土地から追い出  
されています。最先端  
産業を誘致し、巨大な  
「ハコモノ」が次々と建  
設されています。

被災地では温水プール  
のフィットネスジム  
や体育館などができるま  
す。東電の賃貸金や国か  
ら補助金・支援金が出る  
うちも利用し、復興拠点  
を中心には行政を心配  
されています。今後のハコ  
モノの維持管理費が心配  
されています」と渡邊さ  
んは語っていました。

今年の夏は異常に暑さ  
で11月になつても夏目を  
記録しました。温室効果ガスによる地球温暖化の  
影響と言られています。  
発電のエネルギー源とし  
て化石燃料の依存度を低  
減せなければ、温暖化  
に見舞われます。  
「原発の安全神話」も  
崩れた今、日本政府が方  
向を示す必要がありま  
す。ドイツでは「チエル

ノービリのよくなじゅ  
マンエラ、福島のよう  
な自然災害にしろ、大惨  
事となる事故が飛び起き  
ないようにするために、  
原発を閉鎖するのだ」と  
再生能源を実現しました。  
再生可能エネルギーの  
方がより安全で、持続可  
能性が高く、気候にもや  
さしい。未来の地球のた  
め。あなたもこのお正月  
に考えてみませんか。

【黒川 藤原忠夫】



真ん中が日本に男芸者の栄太郎さん

上郡真室川町という人口  
1万6千人位（昭和24年当時）  
現在は7千人弱の所です。74年経つ  
今は新座市に住んでいます。「東京真室川会」という会で、役員をして  
います。

一番大きな催し事は、毎年10月の第2日曜日に日暮里で開催する「東京真室川会懇親会」です。町長・町議会議員・町職員、そして近隣市町村の役員さんや、地元を離れ関東地方で事業や居住している人達とそ

者さん達と日本舞踊や三味線等を披露してくれ

【宗岡 栗田伴春】

## 東京真室川会

私の生まれは山形県最

上郡真室川町という人口

1万6千人位（昭和24年当時）

現在は7千人弱の所です。74年経つ

今は新座市に住んでいます。「東京真室川会」という会で、役員をして

います。

一番大きな催し事は、毎年10月の第2日曜日に日暮里で開催する「東京

真室川会懇親会」です。町長・町議会議員・町職員、そして近隣市町村の役員さんや、地元を離れ関東地方で事業や居住している人達とそ

者さん達と日本舞踊や三味線等を披露してくれ

ひとこと



## Love My Family

すてきな家族

組合員：木村凌太郎さん（書記）  
名前：チャーリーくん  
犬種：イタリアングレイハウンド  
年齢：7歳  
よく食べてよく寝ます。お尻につむじが2つあります。

組合員：岡田守弘さん（中央分会）  
名前：ラブちゃん  
我が家のお嬢さん。2歳になる「ラブ」はチワワードルの間に生まれたチワブーと言う犬種になります。人の膝の上が大好きな、甘えん坊です。



組合員：渡辺幸雄さん（志木分会）  
名前：リトル（ハムスター）  
年齢：1歳  
落ち着きがない子です。餌を食べるしぐさがとても可愛いです。

組合員：田中稔さん（中央分会）  
名前：ちろすけくん（1歳8ヶ月）  
昨年9月に、生後5ヶ月位で外で瘦せていましたので保護しました。  
人なれさせて里親さんを探そうと思ってましたが、なかなか慣れないために、我が家の子になりました。  
青い目がチャームポイントです。

組合員：高橋克夫さん（黒目川分会）  
名前：こうめちゃん・左（3歳）  
名前：もなかちゃん・右（7歳）  
現在の体重1.6kgと、とても小さいヨークシャーテリアです。



組合員：住田武見さん（中央分会）  
名前：ひめちゃん  
外ではおとなしいです。



組合員：柳沢貴史さん（宗岡分会）  
名前：セサミくん（3歳）  
我が家を癒やしてくれる、イタリアングレイハウンドです。

